

寛永行幸四百年の思想 文化が社会を編み直す ～「開幕記念フォーラム・レセプション」を4月12日に開催～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、4月に開幕する「寛永行幸四百年祭」の機運醸成を目的とした様々なイベントを実施しています。
- 関係者が一同に集い、寛永行幸四百年祭の開幕を記念するフォーラム・レセプションを開催しますので、当日の取材をお願いします。

1626年、後水尾天皇が二条城を訪れた寛永行幸は、文化を通じて社会と世界の関係を結び直し、新たな時代の方角を決定づけた出来事であり、四百年を経た今、その意義をあらためて現代に開きます。

本事業は、京都府・京都市をはじめとする関係機関が参画する実行委員会のもと、京都全体で進める「寛永行幸四百年祭」の開幕記念として開催いたします。

1 日時

令和8年4月12日（日）14時30分～18時45分（13時30分受付）

2 場所

ANA クラウンプラザホテル京都（京都市中京区堀川通二条下ル土橋町10番地）

3 内容

- 14：30 開会（開幕宣言：西脇隆俊知事^{にしわきたかとし}）
14：45 講演①「寛永行幸と文化外交」
講師：近衛忠大^{このえただひろ}（近衛家三十二代後嗣／文化監修）
15：25 講演②「外国人が見た寛永京都の文化」
講師：タイモン・スクリーチ（国際日本文化研究センター教授）
16：05 座談会「美意識は社会と経済を動かすか」
登壇：近衛忠大、タイモン・スクリーチ
司会：濱崎加奈子^{はまさきかなこ}（寛永行幸四百年祭プロデューサー）
17：00 開幕記念レセプション
18：45 中締め

4 参加者

府・市議会議員、文化関係者、経済界、伝統産業・工芸関係者 等 約300名

5 取材について

取材を希望される場合は、14時20分までに会場受付へお越しください。

6 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

共催：一般社団法人 Living History KYOTO

協力：ANA クラウンプラザホテル京都

（次頁あり）

7 寛永行幸四百年祭の今後の主な予定

＜寛永行幸四百年祭記念式典・基調講演・能楽公演＞

9月5日(土) 基調講演 講師：^{くまくらいさお}熊倉功夫氏
9月6日(日) 能楽公演

＜寛永行幸行列再現イベント＞

12月6日(日)

＜寛永文化講座＞

4月19日(日) 寛永行幸四百年祭開幕講演会 講師：^{しばはしだいすけ}柴橋大典氏、^{しまみつる}島 充氏
5月17日(日) 講師：^{まつおかしんぺい}松岡心平氏、^{はやしきえもん}林 喜右衛門氏、^{やまだじゅんぺい}山田 淳平氏、^{おのしんりゅう}小野真龍氏
6月27日(土) 講師：^{かさやかずひこ}笠谷和比古氏
7月5日(日) 講師：フレデリック・クレインス氏
8月2日(日) 講師：^{よだとおる}依田 徹氏

【参考】

○ 寛永行幸

寛永3年（1626年）9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○ 寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。

○ 文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）
文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215
文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071

